



岐阜大学
GIFU UNIVERSITY



空と宇宙博 岐阜かがみがはら
航空宇宙博物館
GIFU-KAKAMIGAHARA AIR AND SPACE MUSEUM

各務原市政記者クラブ同時配布資料
岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和8年6月15日（月）岐阜県発表資料		
担当課・係	担当者	電話番号
国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学 工学部附属宇宙研究利用推進センター	西田	直通058-293-2538
岐阜県 商工労働部 航空宇宙産業課 産業振興係	高井	内線3762 直通058-272-8836 FAX 058-278-2653
各務原市 産業活力部 観光交流課	林	直通058-383-9926 FAX 058-389-0765
公益財団法人岐阜かがみがはら航空宇宙博物館 学芸課	江藤	直通058-386-8500 FAX 058-386-9912

岐阜大学との連携事業 宇宙工学講座の開講式を開催します ～過去最多の140名が受講～

県では、宇宙産業を県の中核産業として育成するため、岐阜大学と連携し、将来の宇宙産業を担う人材育成に取り組んでいます。

このたび、県内高校生・高専生を対象として、宇宙に関する基礎的な知識や技術を学ぶ「宇宙工学講座」を開講するにあたり、下記のとおり開講式を開催します。

記

1 開講式等

日時 令和8年6月21日（日）13:00～16:55

場所 岐阜かがみがはら航空宇宙博物館 1階 シアタールーム
(各務原市下切町5-1)

概要 1 開会の挨拶

岐阜大学 学長 よしだ かずひろ 吉田 和弘

2 関係機関等紹介、協力機関ビデオメッセージ

3 宇宙工学講座概要説明

4 受講生紹介、受講生代表挨拶

5 宇宙人材育成事業紹介

・実践プログラム「宇宙甲子園缶サット部門^{*1}」全国大会報告

・発展プログラム「ぎふハイスクールサット^{*2}」報告

6 特別講演「未来をつくる宇宙エンジニアの仕事～夢を形にする技術と挑戦～^{*3}」

三菱重工業株式会社 防衛・宇宙セグメント宇宙事業部

技術部次長 いしかわ けいたろう 石川 佳太郎 氏

7 閉会の挨拶

岐阜大学地域連携推進本部 本部長 すぎやま まこと 杉山 誠

開講式後 記念撮影及びグループワーク

※上記プログラムの内容は、変更になる可能性があります。

2 取材における注意事項

当日取材を希望される方は、6月19日（金）の16時までに社名、氏名及び連絡先を岐阜大学地域連携推進本部地域協学センター（武田）までメールにてご連絡ください。

メールアドレス：ccsc@t.gifu-u.ac.jp

3 宇宙工学講座の概要

日 程 令和8年6月～12月の水曜日（16時～17時）

講 師 岐阜大学教員、外部講師 他

受 講 者 県内高等学校の生徒及び高等専門学校の学生

受 講 料 無料

受講方法 岐阜県教育委員会のWeb会議システム(Webex)を利用し、各受講生の所属校及び個人において受講

主 催 国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学

（地域協学センター/工学部附属宇宙研究利用推進センター）、岐阜県

共 催 各務原市、岐阜県教育委員会、公益財団法人岐阜かかみがはら航空宇宙博物館、独立行政法人国立高等専門学校機構 岐阜工業高等専門学校、国立大学法人東海国立大学機構 航空宇宙生産技術開発センター

後 援 一般社団法人岐阜県工業会、中日本航空専門学校

協 力 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）、Planet Science（仏）、川崎重工業株式会社、GIFU スペースビジネス協議会

<年間スケジュール及び内容(予定)>※テーマ名、講座順は変更になる可能性があります。

回	実施日	内容（講座テーマ）	場所
開講式	6月21日（日）	宇宙工学講座概要説明、宇宙人材育成事業紹介、特別講演、グループワーク	岐阜かかみがはら航空宇宙博物館
1	7月1日（水）	多波長観測で探る宇宙の極限現象	各生徒及び学生の所属校
2	7月15日（水）	超音速飛行から宇宙へ	
3	8月7日（金）	宇宙軌道とロケット	岐阜大学 （オープンキャンパスと合わせて実施）
4	9月9日（水）	宇宙機の電力システム	各生徒及び学生の所属校
5	9月16日（水）	宇宙機の信号処理	
6	10月7日（水）	調整中	
7	10月14日（水）	無重力環境とその利用	
8	10月28日（水）	軌道上実験プロジェクトの実際	
見学	11月7日（土） 8日（日）	JAXA 筑波宇宙センター等への1泊2日バスツアー	同左
9	11月11日（水）	モデルロケット・缶サットを2000mまで打ち上げるには？	各生徒及び学生の所属校
閉講式	12月19日（土）	成果報告、修了証書授与、特別講演	岐阜大学講堂

※1 実践プログラム「宇宙甲子園缶サット部門」全国大会報告

宇宙甲子園缶サット部門全国大会 2025 に出場した参加チームから結果などを報告

宇宙甲子園缶サット部門とは、高校生が自作した空き缶サイズの模擬人工衛星「缶サット」を打上げ、上空での放出・落下・着地の過程を通じて、技術力・創造力を競う競技会。

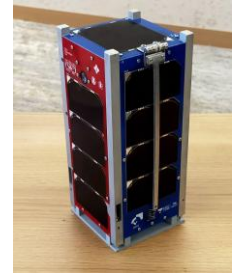
従来の競技会のように「定められた技能」を競うのではなく、生徒の皆さんが斬新でオリジナリティーのある缶サットを作り、「COOL さ」を競います！

【参考】 HP: <http://www.space-koshien.com/cansat/index.html>

※2 発展プログラム「ぎふハイスクールサット」報告

令和7年度の活動成果の発表

発展プログラム「ぎふハイスクールサット」とは、岐阜大学が行う人材育成事業の一つで、岐阜大学が中心となり、複数の県内工業高校生が企業の支援を受けて超小型人工衛星の設計・製造・打上げ・運用までを一貫して行う実践的な高度宇宙技術者育成プログラム。



※3 特別講演「未来をつくる宇宙エンジニアの仕事～夢を形にする技術と挑戦～」について

三菱重工の宇宙開発最前線から、H3 ロケットやHTV-Xの開発・運用秘話を紹介。宇宙開発の難しさ・失敗から学ぶ挑戦の姿勢や、宇宙エンジニアの仕事の魅力をわかりやすくお話します。

<講師>

石川 佳太郎 三菱重工業株式会社 防衛・宇宙セグメント宇宙事業部
技術部次長

三菱重工業の宇宙事業部で技術のリーダーを務め、将来のロケットの研究や開発を担当しています。三菱重工が手がけるさまざまな宇宙の製品に関わり、日本の宇宙産業の発展に貢献しています。宇宙の魅力を多くの若い人に伝え、未来の技術者を育てることに力を入れています。

